留学徒然日記 from TEXAS

テキサス大学MDアンダーソンがんセンター
蒲池　和晴
佐賀大学医学部血液腫瘍内科

2023年11月末、日本において引っ越しやJビザ申請など、海外留学に伴う諸手続きを慌ただしく進めたのち、妻、長男（6歳）、長女（4歳）の家族4人で、期待と不安が入り混じる思いを抱きながら、アメリカ合衆国テキサス州ヒューストンの地に降り立ちました。その時の情景は、今でも鮮明に記憶に残っています。

あれから2年が経過し、現在では家族全員がすっかり現地の生活に馴染み、日本で暮らしていた頃と変わらぬ自然な日常を送ることができており、時の流れの早さに感慨深い思いを抱いています。先日、日本在住の友人に写真を添えて近況を報告したところ、「すっかりアメリカの雰囲気になった」と言葉をかけられました。年齢を重ねたことも一因ではありますが、異国の地での生活の中で、喜びや困難を経験しながら順応してきた過程を通じて、家族共々成長できているのではないかと感じています。こうした私の人生において特別で貴重な時間を過ごすことができているのは、留学を後押ししてくださった先生方、家族、そして現在お世話になっている研究室の皆様のご支援のおかげであり、改めて深く感謝申し上げます。

研究面では、白血病科 Molecular Hematology and Therapy に所属し、急性骨髄性白血病を対象とした新規治療法の開発および臨床応用を主題として研究に従事しています。私は特にフェロトーシスを標的とした治療研究に取り組んでいます。フェロトーシスは比較的新しい細胞死機構であり、分子制御に関する新たな知見が次々と報告されているため、常に最新の情報を取り入れながら研究を進める必要があります。血液がん領域におけるフェロトーシス研究は依然として黎明期にあり、新規発見の可能性を追求しつつ日々研究に取り組んでいます。最先端の研究技術や最新の臨床試験情報に触れる機会にも恵まれ、非常に刺激的かつ充実した研究環境に身を置いています。研究室のメンバーは協力的で風通しが良く、互いに活発な議論を重ねながら研究を進めています。基礎研究は必ずしも仮説通りに進むとは限りませんが、偶然の発見も大切にしながら、粘り強く研究を継続しています。

私生活においては、週末にはプールサイドでバーベキューを楽しんだり、休暇を利用して国立公園を訪れ、雄大な自然に触れたりするなど、オンとオフのメリハリある生活を送っています。子ども達は、当初は戸惑いながらも現地の小学校に通い続け、現在では友人と英語で自然にコミュニケーションを取りながら学校生活を楽しんでいます。妻もESLクラスに通い、現地での交友関係を広げる中で英語力を向上させており、家族全体として新しい環境に順応しています。日本の生活水準の高さを懐かしく思うこともありますが、現地ならではの文化や生活様式を体験できることも、留学生活の大きな魅力であると感じています。

最後になりましたが、上原記念生命科学財団より海外留学助成金のご支援を賜り、本留学生活を継続することができております。ここに改めて深く感謝申し上げます。



←休暇中に訪れたイエローストーン国立公園にて

留学だより

The University of Texas
MD Anderson Cancer Center
箕輪　智幸
札幌医科大学医学部医学科皮膚科学講座

◎留学先の特色

米国ヒューストンにあるテキサスメディカルセンターは、世界最大の医療機関の集合体です。構成施設のひとつであるMDアンダーソンがんセンターは、がんの治療、研究、教育、予防を専門とした複合的ながん研究・医療機関です。留学先の免疫学講座は、2018年にがん免疫療法でノーベル賞を受賞したJames P. Allison博士が率いており、免疫チェックポイント阻害薬、CAR-T細胞療法、がんワクチンの開発を含めたがん免疫療法において、世界最高峰の研究実績を有しています。

◎ラボと研究テーマ

シングルセル解像度でのRNA-seq、TCR-seq、spatial transcriptome、スペクトロフローサイトメトリーによるマルチオミクスによって、免疫チェックポイント阻害薬とがんワクチン併用による腫瘍微小環境のリモデリングや免疫療法抵抗性の獲得機序のより深い解明がラボのテーマです。私は免疫の司令塔である腫瘍浸潤樹状細胞に注目して研究を進めています。

◎留学先での生活

荷造りや書類の用意、子どもの予防接種、日本で済ませておく手続き関係などで渡米前からてんやわんやしました。渡米後も、アパート、ライフラインの契約、銀行口座の開設、ソーシャルセキュリティー番号、運転免許の取得など生活のセットアップで一通りのトラブルと苦労を経験しました。セットアップが落ち着いた後から、週末にはヒューストン近郊に遊びに出かけ楽しい時間を過ごしています。ヒューストン宇宙センターが車で30分のところにあり、年パスを買って子どもたちを連れていっています。

◎留学を考えている先生へ

留学のデメリットは○○万円かかる、臨床に○年分のブランクができるなど数値化されるものが多いです。一方で、多様な文化・人種の中で過ごすことのメリットは数値では表すことができませんが、人生を豊かにしてくるものと信じています。大学院の卒業を控え、その後も研究を続けたいと思っている先生方、ぜひ留学を考えてみてください（家族同伴者は家族の理解が一番大切です）。



←ラボメンバー